

1 金剛ふるさとバス利用促進検討分科会について

金剛ふるさとバスの利用促進に関する事項を専門的に検討するため、富田林市、太子町、河南町及び千早赤阪村地域公共交通活性化協議会の下部組織として設置した。

富田林市、太子町、河南町及び千早赤阪村
地域公共交通活性化協議会



金剛ふるさとバス
利用促進検討分科会

〇〇検討分科会

〇〇検討分科会

〇〇検討分科会

② 委員構成（敬称略）

学識経験者	猪井 博登	富山大学 都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科 准教授
	和泉 大樹	阪南大学 国際学部 国際観光学科 教授
運行事業者	片桐 直輔	近鉄バス株式会社 乗合営業課 係長
	藤原 広行	南海バス株式会社 企画課 課長補佐
	福井 太治	エムケイ観光バス株式会社 大阪南営業所 所長
	平山 幸一	大新東株式会社 和歌山営業所 所長
住民委員 (協議会委員)	西田 卓司	富田林市身体障害者福祉協会 副会長
	金谷 和美	太子町区長会 会長
	伊藤 容子	河南町民生委員児童委員協議会 副会長
	川邊 清	千早赤阪村社会福祉協議会 会長
市町村職員	高橋 京司	富田林市 都市魅力課 シティセールス係長
	富士野成利	太子町 秘書政策課 主査
	川出 俊介	河南町 総務課 課長補佐
	北浦 信行	千早赤阪村 秘書企画課 課長

③ 令和6年度 第1回 金剛ふるさとバス利用促進検討分科会

1. 日時及び場所

日時：令和7年3月21日（金）午後1時30分～

場所：TOPIC（きらめき創造館）

富田林市常盤町16-11

2. 議題

- （1）金剛ふるさとバスについて
- （2）金剛ふるさとバス利用促進検討分科会について
- （3）その他

3. 会議概要

- ・協議会会長の指名により、猪井委員が分科会長となった。
- ・早急な利用促進策として、4市町村において転入者向けの配布資料に金剛ふるさとバスの時刻表と路線図を入れてはどうかとの提案があった。
- ・夏休み頃にミステリーツアーのようなイベント開催に向けて取り組む予定。
- ・枚方市で毎年開催されるスタンプラリーイベントに分科会委員で視察に行く予定。



4. 分科会で出た主な意見

利用環境に関する意見

- ・電車とバスの乗継が悪い。運行ダイヤを見直すべき。
- ・往復運賃よりも駅前の駐車場料金の方が安い。
駐車場利用者にバス利用券を配布してもいいかもしれない。
- ・キャッシュレス対応にした方が現役世代は多く利用してもらえと思う。ただし、高齢者に配慮して現金支払いも併用できるようにすべき。

情報発信に関する意見

- ・転入者にバスの利用ガイドとリアルな路線図を配布する。
- ・学生の利用者も多いため、SNSでの情報発信をすべき。
特派員制度のようなものを導入して、地元の学生にInstagram投稿してもらってもいいかもしれない。
- ・バス車内に4市町村をPRするポスターなどを掲載する。
- ・4市町村が各々取り組む地域のイベントで金剛ふるさとバスを利用してもらうように情報発信する。

魅力向上に関する意見

- ・夏休み期間に子どもを対象とした金剛ふるさとバスを活用したイベントを開催する。
- ・地域の子供たちへのイベント周知については、教育委員会を通じて学校にチラシを配布する。
- ・枚方市のスタンプラリーイベントの見学会を実施して、成功事例を実際に体験する。
- ・地元企業との連携を検討するため、各市町村の観光担当者を交えた会議を開催する。
- ・珍しい車両を活用して話題作りを行う。
実は、旧金剛自動車のバス車両も珍しい車両である。
- ・子どもや地元の人によるアナウンスを導入することで、みんなで育てるバスというイメージを作る。
- ・バス車内から見える景色の写真を車内に展示する。